



赤磐

令和6年12月議会 第80号

市議会だより

赤磐市長選挙及び赤磐市議会議員選挙

投票日 3月23日
令和7年

選挙へ行こう！



赤磐市議会ホームページ



(議会中継)



(会議録)



(市議会だより)

ホームページ
では議会の情報
や、本会議、委
員会の中継を配
信しています。

赤磐市議会

検索

CONTENTS

12月定例会のあらまし……………	2P
委員会のうごき……………	5P
15人の議員が一般質問……………	8P

令和6年度補正予算（一般会計・特別会計他） 8億8373万円の増額補正を可決

主な内容（歳出）

一般会計（8億6470万円増額）（第5・6号）

- ・衆議院議員選挙費（2926万円増額）
- ・庁舎等整備事業（4億円増額）
- ・自立支援給付費事業（8498万円増額）
- ・障害児施設支援給付費事業（3511万円増額）
- ・子ども医療費事業（1800万円増額）
- ・教科書改訂事業（2985万円増額）
- ・農業用施設災害復旧事業（1770万円増額）
- ・道路橋梁災害復旧事業（3000万円増額）

国民健康保険特別会計（1446万円増額）（第2号）

後期高齢者医療特別会計（137万円）（第2号）

介護保険特別会計（147万円）（第3号）

下水道事業会計（172万円）（第1号）

赤磐市国民健康保険条例の一部を改正する条例

問 葬祭費を現在の6万円から5万円に改めると市民にとっては1万円減る。今回、県下で統一することだが、現在県下の各自自治体の葬祭費の状況はどうなっているのか。また施行日は。

答 保険料水準の統一に向けた事務の標準化の一環で、葬祭費を県下で5万円に統一する。現在の市の支給基準が異なっているため改正をする。県下で支給基準が異なっているのは4市町村で、赤磐市、吉備中央町、早島町、新庄村

改正内容
岡山県下で進めている保険料水準の統一に向け、県内の葬祭費の給付水準を統一するため、葬祭費の支給額の改正を行うものである。

問 赤磐市では何件ぐらい葬祭費の利用があったのか。今後、国民健康保険税への影響が出てくると思われるが。

答 この制度の利用は直近1年間で76件あった。国民健康保険税は加入世帯数が年々減少し、医療費の高騰などで負担は少しずつ増えていると思われるが、皆さんの負担をできるだけ抑えるべく努力してやりくりしている。今のところ赤磐市の国民健康保険特別会計は健全な経営を続けており安心してほしい。

12月定例会の あらまし

議案審議

12月定例会を11月27日から12月20日まで24日間の会期で開催した。
人事案件1件を同意、承認案件1件を承認、議案14件を可決、請願1件を不採択とした。

討 論

議第63号 赤磐市国民健康保険条例の一部を改正する条例

【反対討論】

(1人)

▽国保の県単位化は自治体及び国保加入者の負担を増やす方向であり、国の医療費負担を削減する方向である。健康診断の補助や出産手当の補助など自治体ごとに積み上げてきた制度が壊されてしまう懸念がある。よって反対する。

議第69号 令和6年度赤磐市一般会計補正予算

【反対討論】

(1人)

▽4億円の予算が後づけになって出てきたということは、耐震設計の段階でいずれまた最後に調整して補正で組めば何とかなるだろうという、甘さを感じてならない。行政はもっと緊張して物事に取り組むべきだ。このようなことで何億円もお金を出すということは認められない。よって反対する。

請 願

請願第1号 大型商業施設コストコの出店に係る地域密着型商業者への影響回避についての請願

【不採択】

【要旨】

赤磐市において、立地適正化計画が示され、計画の中に「産業振興・賑わいゾーン」が設定され、その中に企業誘致として大型商業施設コストコ・ホールセールの出店の話が多数報じられている。地域密着の必需品を取り扱う弱小の地元企業として、大企業による価格競争は脅威であり死活問題である。赤磐市地域密着企業や市民を不安や不遇に陥れることがなく、施策に反映され、実現・実行するよう請願する。

【賛成討論】

(1人)

▽この請願はもっともなことであり、時機を得た請願である。地元業者の切実な声を受け止め、安全・安心で住みやすい町にするため賛成する。

【反対討論】

(1人)

▽次の3点の理由から賛成できない。1点目は、大手企業との価格競争に勝てないことを挙げているが、企業間競争は価格競争だけではなく、サービスや顧客との親密性など、非価格競争で対応すべきだ。2点目は、賃金格差を挙げているが、格差があるなら賃金引上げで対応するよう企業努力をすべきだ。3点目は、議会に対して地元密着事業者を休業や廃業、倒産に追い込むことのないよう十分に配慮した施策を実行するよう市長に申し入れを行う請願となっているが、漠然とし過ぎて具体的に何を申し入れるのかわからない。よって反対する。

3月議会のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
2/2	2/3	2/4	2/5	2/6	2/7	2/8
		本会議 (議案上程)	本会議 (議案上程)	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	
2/9	2/10	2/11	2/12	2/13	2/14	2/15
	本会議 (一般質問)			本会議 (質疑・委員会付託)		
2/16	2/17	2/18	2/19	2/20	2/21	2/22
	総務常任委員会	厚生文教常任委員会	産業建設常任委員会		予算常任委員会	
2/23	2/24	2/25	2/26	2/27	2/28	3/1
		予算常任委員会	まちづくり調査 特別委員会		本会議 (委員長報告・質疑・ 討論・採決)	

令和6年12月第4回赤磐市議会定例会審議結果

議案番号	案 件	議決結果	牛尾直人	鼻岡美保	安藤利博	永徳省二	大森進次	光成良充	保田 守	大口浩志	治徳義明	原田素代	金谷文則	松田 勲	福木京子	佐藤武文	下山哲司	実盛祥五	佐藤 武
議第 6 3 号	赤磐市国民健康保険条例の一部を改正する条例	可 決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	—
議第 6 9 号	令和 6 年度赤磐市一般会計補正予算（第 6 号）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	●	○	○	●	○	○	—
請願第 1 号	大型商業施設コストコの出店に係る地域密着型商業者への影響回避についての請願	不採択	○	○	●	●	●	●	●	○	●	○	○	●	○	○	○	●	●

○＝賛成 ●＝不賛成

※佐藤武議長は地方自治法第116条第2項の規定により議決に加わるできません。

※請願第1号については可否同数であったため、議長において可否の裁決を行ったものです。

※下記に記載する議案については、全会一致で可決しています。

議案番号	案 件	議決結果
同意第2号	赤磐市監査委員の選任に関し同意を求めることについて	同意
承認第10号	専決処分の承認を求めることについて 令和6年度赤磐市一般会計補正予算（第5号）	承認
議第60号	赤磐市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	可決
議第61号	赤磐市バス運行に関する条例等の一部を改正する条例	可決
議第62号	督促手数料の廃止に伴う関係条例の整備に関する条例	可決
議第64号	岡山県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び岡山県市町村総合事務組合規約の変更について	可決
議第65号	赤磐市山陽総合福祉センターの指定管理者の指定について	可決
議第66号	赤磐市赤坂福祉サービスセンター「春の家」の指定管理者の指定について	可決
議第67号	地域活動支援センターよしいの指定管理者の指定について	可決
議第68号	アグリの指定管理者の指定について	可決
議第70号	令和6年度赤磐市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決
議第71号	令和6年度赤磐市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決
議第72号	令和6年度赤磐市介護保険特別会計補正予算（第3号）	可決
議第73号	令和6年度赤磐市下水道事業会計補正予算（第1号）	可決

予算 常任委員会

12月13日に予算常任委員会を行った。議案5件について審査した。

庁舎等整備事業の4億円増額

問 庁舎等整備事業、4億円の追加補正について発生時期は。

答 1期工事の土中埋設物、2期工事の中央公民館の外壁ALCの劣化、屋上の雨漏り等が主なもので、設計時には確認できなかったものである。

問 今の説明には納得がいかない。設計段階で分かるのでは。

答 耐震改修工事がメインで、利便性・快適性・安全性を加味した改修を追加した。

問 物価スライドの部分は。

答 3200万円程度である。

問 4億円の根拠は。

答 増加する部分と設計見直しによるマイナスの部分がある。

問 説明が尽くされていないのでは。

答 大まかな1割、2割という説明はしているが、細かい説明はしていない。



中央公民館の工事状況

子ども医療費事業に1800万円増額

問 7月から高校生までの無料化が始まり、いろんな変化があったと思うが、増額に至った要因は。

答 高校生の無料化は7月から始まり、2か月分くらいしか実績が上がっていない。高校生以外の年代の診療経費が上がっており、このままいくと3月の支払いがでなくなる。

問 高校生までの1割負担をなくすとして700万円の費用が必要と説明があったが、1800万円に700万円は含まれているのか。

答 1800万円に含まれている。電算管理運営事業に163万円増額

電算管理運営事業に163万円増額

問 Wi-Fiの増設が通級指導教室と普通教室とあるが、山陽北小学校と桜が丘中学校への割り振りは。

答 山陽北小学校が、通級指導教室の1教室分、桜が丘中学校が、普通教室の2教室分である。

一般管理事業に813万円増額

問 中央図書館の一般管理費が人事院勧告による増額となつていますが、当初から比べると14%の増額である。人事院勧告でそんなに上がったのではないと思うが、増額の理由が違うのではないか。

答 基本的には人事院勧告の給与改定によるものであるが、コンピュータアンス推進室から女性1人の勤務は危険であると指摘があり、今年度から地区館については2人体制となり、予算が不足しているので増額に含めている。

施設維持管理事業に350万円増額

問 岡山県河川リフレッシュ事業による処分費と河川のしゅんせつとの関係は。

答 岡山県がしゅんせつを行っている。市はしゅんせつ土や伐採枝の処分費を負担することになっている。

問 一般財源でなく地方債で費用計上しているのか。

答 この事業は緊急浚渫推進事業債を使っている。

災害復旧費に5050万円増額

問 農地災害の280万円、農業用施設災害の1770万円、道路橋梁の修繕等の3千万円は、台風10号での大雨による被災の復旧工事とあるが、場所等がわかれば教えてほしい。

答 農地災害については、吉井地域の暮田地内の畑が被災している。農業用施設については、殿谷地内の水路と西中地内の農道が被災している。土木施設については、惣分地内の市道北浦線、由津里地内の市道由津里中央

線、戸津野地内の市道戸津野東線、是里地内の市道鳩岡線、塩木地内の市道塩木線の5路線が被災している。

問 今年の9月議会の補正予算で、大雨で被災した施設で1050万円くらい出ていたが、関連性があるのか。

答 令和6年5月27日から28日の午後による被災であり、関連性はない。

問 関連性がないというのだが、場所も全く違うのか。

答 殿谷地内の水路については、5月27日から28日の雨で崩れた箇所、すぐ下流側が崩れており、今回一緒に直すため、延長が少し増えたことも含まれている。

総務 常任委員会

12月10日に総務常任委員会を行った。議案3件について審査した。

条例の改正

赤磐市バス運行に関する条例等の一部を改正する条例

改正内容

広域路線バス（赤磐・瀬戸線）を新設することに伴うもので、令和7年4月から、高校生の通学等の利便性の向上を図るため、広域路線バス（赤磐・美作線）の経路を一部変更・延伸し、岡山市のＪＲ瀬戸駅に乗り入れる便の運行を開始するため、改正を行うものである。

主な停留所・時刻表

1 便	
瀬戸駅行き	
周 匝 上	6:28
仁 堀	6:46
町 苅 田	7:03
下 市	7:12
瀬戸駅前	7:22

2 便	
周匝上行き	
瀬戸駅前	17:35
下 市	18:43
町 苅 田	17:52
仁 堀	18:09
周 匝 上	18:23



赤磐・瀬戸線路線図

問 通学の利便性の向上ということだが、対象の学生の人数は把握しているのか。

答 沿線の中学校等に聞き取りをして、人数の把握、予測はしている。

問 使用料金は宇野バスと同じか。定期券は

宇野バスと共有で使えるか。

答 料金は宇野バスに合わせている。宇野バスの定期券は、従前の通り市民バスの同一区間で使用できる。

問 督促手数料は廃止するが督促自体は継続するという理解で良いか。

答 その通りである。

厚生文教 常任委員会

12月11日に厚生文教常任委員会を行った。議案4件について審査した。

条例の改正

赤磐市国民健康保険条例の一部を改正する条例

問

どこから指示が来たのか。

答 岡山県が保険料水準の統一に向けて調整をしている。

問 岡山県以外はどうなのか。

答 岡山県以外でもそれぞれ京都府県で進めている。

赤磐市赤坂福祉サービスセンター「春の家」の指定管理者の指定について

問 指定管理者が赤磐市社会福祉協議会であるが適正なのか。第三者委員会で正しくないと結論が出た場合、契約を途中で解除することが可能なのか。

答 何らかの問題が生じた場合、指定管理者としてふさわしくない部分があれば、検討していくことになる。



赤磐市赤坂福祉サービスセンター「春の家」

赤磐市山陽総合福祉センターの指定管理者の指定について

問 指定管理者になる予定の赤磐市社会福祉協議会はパワハラ問題やガバナンス問題があり、一度予算が凍結されたが、指定管理者として適正なのか。

答 ハラスメント問題は第三者委員会で調査中であり、進展を注視している。指定管理については、今までの山陽総合福祉センターの維持管理や運営状況等を踏まえて検討した結果、適正だと判断した。

問 指定管理料の大半は人件費だと聞いているが、内訳は。

答 施設の維持管理に係るものが主になる。具体的には光熱水費、各種設備の点検委託料、保守料、その他消耗品といった経費である。人件費は指定管理料に含まれていない。



赤磐市山陽総合福祉センター

地域活動支援センターよしの指定管理者の指定について

問 指定管理料がないが、運営について経費はどこから出ているのか。

答 NPO法人の自主運営になっている。

産業建設常任委員会

12月9日産業建設常任委員会を行った。議案1件、請願1件について審査した。

アグリの指定管理者の指定について

問 指定管理について、行政の意向に沿った運営ができていないのか。またその検証はできているのか。

答 この施設は設置目的に沿った運営ができていると考えている。事業の検証について、指定管理者から四半期ごとに事業報告の提出がされている。それにより、事業の実施状況・施設の利用状況・コスト削減やサービスの維持向上に係る取り組み状況等を確認している。また毎年度決算書により指定管理料の使途についても適正であるかを確認している。

問 管理状況の確認は、年に何回ぐらい施設へ訪問しているのか。

答 年2回程度である。

問 令和5年度の利用状況の説明があつたが、コロナが明けたこともあって、令和4年度に比べて利用状況は増えているのか。

答 少しではあるが増えている。

大型商業施設コストの削減に係る地域密着型事業者への影響回避についての請願

主な意見

・東近江市や御船町を視察して請願者が心配していることは対応できると思う。今回の請願は外資系の大規模商業施設に対するピンポイントの請願であり、来ないでほしいという間違ったメッセージを与えていない。



アグリ（赤磐市西軽部地内）

る可能性があるの
で、反対する。
・この先つぶれるようなことがあればその時それなりの対応をしてもらわなければならないが、地元業者には大手が来ても営業努力で頑張ってもらいたいと思うので、反対する。
・コストコが岡山県に石油販売の申請をしているという情報がある。「配達をしてくれる身近なガソリンスタンドがなくなったら困る。」との声を聞いているので、賛成する。
・市内のガソリンスタンドを守るという意味と、今いろいろな問題が起こっている中でこのまま進めるのは本当に大変だということなので、賛成する。

一般質問



市の考えを問う

15人の議員が登壇し市の考えをたきました。
一般質問通告事項は次のとおりです。

一般質問のページは質問した議員本人の原稿に基づいています。

質問議員	質問事項	質問議員	質問事項
金谷 文則 9ページ	・農家をサポートする組織を作ってはについて ・副市長の選任をしないのかについて ・コストコ等の誘致問題と公共ゾーンの計画について	牛尾 直人 14ページ	・大規模災害時の対策は ・生活困窮者支援対策について ・市民バスについて ・子育て教育環境について
永徳 省二 9ページ	・いじめ、不登校について ・給食に地元食材をについて ・高齢者に優しい歩道について ・園児募集について	鼻岡 美保 14ページ	・熊山支所・公民館機能移転 ・新拠点区域で確認されている文化財 ・永瀬清子生家保存会 ・50kW以下のソーラー発電設備建設の規制
安藤 利博 10ページ	・地区敬老会助成金交付規則の改定について ・投票機会確保策について ・ワクチン接種助成について	原田 素代 15ページ	・ふるさと納税の返礼金が300万円で新聞に叩かれていた市長がいるが ・都市計画変更の決定に至った経緯は ・道路建設と文化財発掘調査の費用はいつ発生することが明らかになったのか ・コストコ、ナカシマホールディングスグループの事業について ・今回の道路改良は、何台の車両を見込んでいるのか
松田 勲 10ページ	・新拠点整備に合わせた周辺道路の整備について ・旧桜が丘中央ショッピング周辺整備について	光成 良充 15ページ	・赤磐市の不妊・不育治療の対応について ・赤磐市の給食センターのあり方について
大森 進次 11ページ	・自転車保険義務化について ・上下水道施設の耐震化について ・学校施設の健全化について ・市民に使いやすい道路整備と適正化管理について	佐藤 武文 16ページ	・新拠点整備計画の中にホテル・温泉施設の計画があるのか ・まちづくり構想に何故市民の声が反映されないのか ・赤磐市の独自策とし農機具の貸し出しを行ってはどうか ・学校統合の問題を今後どのように進めていくのか
下山 哲司 11ページ	・イノシシ対策について ・選挙について ・コストコ及び道の駅について		
治徳 義明 12ページ	・観光振興について ・農業振興について ・精神障がい者医療費の負担軽減の取り組みについて		
大口 浩志 12ページ	・各種保険証について ・農業について ・職員・定員管理について ・DXについて		
保田 守 13ページ	・コストコ誘致について ・道の駅について ・赤磐警察署を赤磐市へ		
福木 京子 13ページ	・山陽団地の活性化について ・新拠点でのまちづくりについて ・農業振興地域への太陽光設置問題について		

表紙の一言

3月23日は赤磐市長及び赤磐市議会議員選挙の投票日です。

今回は「あかいわももちゃん」と「選挙のめいすいくん」が選挙への投票参加を呼びかけるために駆けつけてくれました。

選挙のめいすいくんは、明るい選挙のイメージキャラクターとして平成12年4月に誕生しました。投票箱がモチーフで、頭部の2本の縦線は投票用紙挿入口を表しています。



金谷文則議員

「コストコ等の誘致問題について」



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

問 副市長の選任をしないのか。

職員と市長の間、議会と市執行部側とのワンクッションという意味でも、事業をやる場合に市民との調整等を行うためにも、副市長の選任を早くすべきと思うがどうか。

答 私も同感だ。副市長の配置は、市政推進に極めて重要で、適任者を選定する必要がある。そこを見極めながらできるだけ早く選任させてもらえればと思う。

問 コストコ等誘致問題と公共ゾーン計画について、議会・委員会ではこれから協議するとしているが、秘密が多くなってきた議論がなされていなく、事業を進めているが良いのか。

答 また、コストコ、ナカシマホールディングス、ベストコーポレーションという企業名があがっているが、どのような会社なのか。この事業の費用対効果についてはどうか。コストコ誘致について、ネオポリスの住民すべてが賛成との発言をする議員もいるが、私の聞く限りでは間違いのように思える。また、他の市民からは、「なぜコストコでないといけないのか」との声も多数聞かれる。一方的な事業にならないよう、慎重に事を進めるべきではないか。



山陽団地から望む河本・岩田地区の様子

重する必要もあったためである。理解をお願いしたい。公共ゾーンの整備計画については、業務進捗に応じ取りまとめ結果を随時報告するとともに、意見をもらいながら進めている。引き続き議論が図れるよう、適宜情報提供させてもらう。費用対効果の算出は、現時点、数字等で具体的に上げられない。



永徳省二議員

いじめ、不登校が最悪！



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

問 文部科学省が公表した令和5年度の問題行動・不登校調査によると、いじめ、不登校が過去最多を更新した。赤磐市の状況は。いじめ、不登校撲滅のための施策について説明を。その効果確認はできているのか、効果はあったのか。

答 重大事態はない。撲滅に向けた取り組みが、いじめについては人権教育全体を通じていじめを許さないという環境づくり、いじめ解消に向けた徹底的な取り組み。不登校については、一人一人に寄り添いながら安心できる居場所や多様な学びの場づくり。暴力行為については、当事者は行為に至った状況や背景をしっかりと振り返ら

せ、次の行動に生かせるような指導が重要だと考えている。

問 スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置状況は。

答 県の事業を受けて全校に配置している。

高齢者に優しい歩道を

いう形の歩道が主で、車道より一段高いところを歩行者が歩く構造となっている。マウンドアップ歩道は、自転車等の走行性が悪いため、今後、赤磐市で新たに整備する歩道については、走行性のよいセミフラット歩道を標準としている。

問 高齢者が自転車で行く場合、車道ではどうしても車との接触事故の可能性があり、歩道を走行する市民が多い。車道から歩道へ上がるときに段差が2〜3センチある。これでバランスを崩し転倒するリスクがあるが、この段差をフラットにできないものか。

答 赤磐市にある歩道については、昔整備されたマウンドアップと

小 学 校			
	いじめ	不登校	暴力
2023年度	87件	50人	29件
2022年度	64件	43人	36件
差(悪化数)	23件	7人	▲7件

(ここだけ改善)

中 学 校			
	いじめ	不登校	暴力
2023年度	53件	61人	31件
2022年度	41件	51人	12件
差(悪化数)	12件	10人	19件

いじめ、不登校の表



安藤利博議員

ワクチン接種費用の 助成はやめるべき



個人質問の映像を録画
放映でご覧になれます。

問 これまで7回のワクチン接種人数と、定期接種の接種人数は。

答 7回の累計で約14万人。10月の定期接種実績は203人である。

問 「予防接種健康被害救済制度」で死亡を含む多くの副反応被害が認定されている。

来年度は接種費用助成をやめるべきではないか。

答 接種希望者への負担軽減を図ることは公平原則に反しない。

地区敬老会助成金

問 助成対象事業のうち「敬老会」実施地区は何地区か。

答 商品券等の配布が124地区、敬老会の開催が27地区である。

問 「敬老会」助成は時代にそぐわなくなっ

ている。令和5年度事業評価での令和7年度以降の課題、目標は。

答 課題は、対象年齢や単価など事業の見直しが必要。目標は、県内他自治体において縮小、廃止の傾向にあり、廃止を視野に検討する。

問 新規財源が1800万円あれば、どのような事業に充当できるか。

答 一例として、子ども医療費や児童発達支援等子育てに関する事業へ充当が考えられる。

投票機会確保策

問 一定の身体障害がある人や要介護5の人は、郵便等による不在者投票が認められているが周知されているか。

答 選挙特報等の全戸配布や、ホームページ

に掲載して周知している。

問 総務省は移動期日前投票所の設置について「積極的に取り組んでいただきたい」としている。次の市長・市議会議員選挙での移動期日前投票所開設の予定は。

答 現在のところ予定はない。



市長選挙投票率推移

問 道の駅をはじめ、コストコ、ナカシマホールディングスという名前が出ているが、賛成であり、大いに期待する。懸念されるのが交通渋滞である。新下市橋付近では、朝夕は大変混雑している。

そこで、新下市橋交差点を通過するバイパス整備が必要と考える。例えば、桜が丘から中国銀行がある交差点の手前に左へ抜ける十七川沿いの道が、山陽インターチェンジの入り口まで来ている。車1台分の幅しかない道ではあるが、広げればバイパスになると考えるがどうか。

答 新下市橋交差点を経由せずに瀬戸方面へ抜けるバイパス道路の



松田 勲議員

新拠点整備に併せた 周辺道路の整備を



個人質問の映像を録画
放映でご覧になれます。

必要性をも検討に加えていく。とても有効かと思われ、道路整備の中で優先的に考えていくという位置付けをしていく。

また、市道岩田長尾線は建設中で、新拠点の整備に合わせて必ず実現させねばならない。

新拠点整備は市の将来を大きく担っていく事業である。渋滞問題に対しても、しっかりと向き合っていく。

旧桜が丘中央ショッピング周辺整備は

問 交番設置の話もあるが、旧桜が丘中央ショッピングを含めた周辺整備は、今後どのように進めていくのか。

答 旧桜が丘中央ショッピングの土地および建物については、



旧桜が丘中央ショッピング周辺

大和ハウス工業1社の所有に今は変わっている。今後の土地活用をどのように進めるかを、検討していると聞いている。



大森進次議員

上下水道施設の耐震化の進捗状況は



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

問 上下水道施設の耐震化の取り組みが実感できない。どのように進んでいるのか。

答 浄水施設から配水池に送る送水管、配水池から各家庭に供給する配水管は、更新時に耐震性能を有している管に順次交換している。下水道管の整備は、順次、耐震性能を有する管を敷設している。

問 赤磐市の上下水道施設の耐震化率は。

答 水道の配水池は国の目標の30%が25%程度、同様に水道管は7%が4%。下水道管は65%が64・97%となっている。

自転車保険の義務化

問 10月1日から自転車保険の加入が義務化されたが、市の実態と

普及取り組みは。

答 普及率等、実態調査は行っていない。普及の取り組みは、広報紙への掲載やホームページ等のSNSでの情報発信、交通指導や出前講座、イベント時に周知、チラシの配布などで普及を図っている。

学校施設の健全化

問 長年の雨漏りを放置して健全な施設管理がされてなかった原因は。今後、どのように健全化に取り組むのか。

答 これまで学校施設の非構造部材の耐震化工事など大規模改修工事を実施したことで、雨漏りに対する対応が遅れた。今後は、学校施設長寿命化計画に基づき、整備適正化を図る。学校現場との情報共有で緊急性を見極め、早期の対応で、安全に安心して施設が使用できるように努めている。

市道の整備・適正管理

問 桜が丘地域の市道の管理は。

答 地域の人々が安全に通行できるように、適正管理に努めていく。



自転車保険の加入啓発チラシ

イノシシ対策について

問 イノシシ駆除に対する補助は十分か。

答 イノシシ対策に対する補助金はイノシシ等防護柵設置補助金、有害鳥獣捕獲補助金、有害鳥獣駆除班補助金の3つである。

問 害獣駆除に対する補助金が他市町村より少ないのではないか。特にイノシシの場合は人的危険度が高い。成獣・幼獣の補助金を同じ料金にしては。

答 市の負担が6千円、国の負担が成獣7千円、幼獣が1千円である。

選挙広報について

問 選挙に対して物事を慎重にすることが赤磐市には欠けていると



下山哲司議員

赤磐市は市民に対しいろいろな面で説明を



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

思うが。

答 市民の皆様から選挙によって選んでもらう立場から、法令等の順守は当然で事に対して厳粛に対応する。

コストコ及び道の駅について

問 市民に対する説明不足ではないか。

答 現時点で最終の意思決定をもらっていない。

問 最終意思決定をもらっていないところ、10億円近い予算をつけるのはおかしいと思うが。

答 受ける側としてこれだけの歓迎の意思を表すという意味での市の役割を表している。

問 民・民という敷地内道路に赤磐市の予算でどうぞという話にな



こんな所までイノシシが出没

問 市長の考え違いではないかと思うが。

答 現実U・S・Sに土地代を払っている。

問 事例はあると思う。事例の説明を求め

答 長尾にある総合流通センターで幹線道路、それから周辺道路である。



議員 明義徳治

新拠点開発は経済活性化の 大きなチャンス！



個人質問の映像を録画
放映でご覧になれます。

問 「赤磐の未来を決める」道の駅建設やホテル、コストコ誘致等の新拠点開発。コストコを誘致している自治体を行政視察したが、周辺地域や県外からの集客力等、コストコ効果が見込める。地域経済活性化の大きなチャンスである。

答 ①宿泊施設（ホテル）の誘致は。②観光振興の取り組みが重要では。③飲食は重要な役割を果たす。飲食店に対する支援や御当地グルメの開発、グルメマップ作成等の取り組みは。④SNSの活用は。

作成等を実施していく。④「魅力ある赤磐」を情報発信していく。

農業振興について

問 「農業機械更新問題」は、喫緊の最重要課題である。買い替えの補助やリース、レンタルの仕組みづくりなどに取り組むべきでは。

答 農家が負担軽減されるよう取り組む。

問 ①スマート農業②環境配慮型農業③農産物のブランド化の取り組みは。④施設園芸農業の支援は。

答 ①次世代農業技術集積センターにおいて、生産管理システムを導入して農作物の高付加価値化等を進める。②国や県の施策を注視して有効な施策は農業者に案内する。③



新拠点開発エリア

高付加価値化等のため地域ブランド化を目指す。④ハウスの建設などに補助金で支援している。

問 高齢化等の農業分野と障害者等が働く場を求める福祉分野との農福連携は。

答 安全安心に就農できる環境を整え、ウイン・ウインの労働環境を目指す。



議員 志浩大口

兼業農家を残すべきでは



個人質問の映像を録画
放映でご覧になれます。

問 兼業農家を残すべきでは。

答 兼業農家の労働と経済的負担が軽減されるよう、政策を見直す。

問 鳥獣被害対策に忌避剤などは導入できないか。モデル地区を作って検証できないか。

答 鳥獣被害防止対策協議会で意見を聞きたい。

問 狩猟補助金の値上げはできないか。

答 さまざまな値上がりがあるが、補助金は変わっていない。近隣の市町の動向を見ながら慎重に検討する。

各種保険証について

問 介護保険証・介護保険負担割合証・後期高齢者医療被保険者証について、本人や関係者が管理しやすいように一枚にはできないか。

答 国はペーパーレス化を打ち出している。国からの通知に基づいて整備していきたい。

職員・定員管理について

問 今後の方針は。市民サービスに影響は出ないか。採用困難な時代がすぐそこまで来ているのでは。

答 人員確保のために、働きやすい環境を整えていくのは喫緊の課題だと認識している。

問 公務員のフレックス勤務もできるが、赤坂支所を子育て支援支所にはできないか。

答 子育て支援のモデルを築く地区だと認識している。

問 若手職員を中心に



赤坂支所そばの赤坂ひまわりこども園



保田 守 議員

赤磐警察署を赤磐市へ



個人質問の映像を録画
放映でご覧になれます。

問 赤磐警察署を赤磐市へ、この質問は12年前からずっとしている。

赤磐市の考えている新拠点事業が進めば多くの人が集まり、当然、車も増え、事故も増えると思う。

また、近畿や関東では高齢者を狙った凶悪な犯罪が増えている。やがて我々のところでもこのような犯罪が起きると思う。

赤磐市に警察署が必要である。市長にも多くのの人に、赤磐警察署を赤磐市へと大きな声で訴えてもらいたい。

答 交番や駐在所などは、住民数だけでなく、事案件数、立地条件を総合的に勘案して配置している。

事案発生の際には本署や近接交番、駐在所

からの応援体制が取られている。

警察署の赤磐市への移転の必要性は認識しており、赤磐警察署協議会や他の機会を含め要望を行っている。

問 まちづくり調査特別委員会、道の駅の予算は20億円から30億円程度と説明があったが、それでは市民に説明ができない。明確にしていくなければならない。

答 現在行っている事業手法検討調査業務は年度末までに完了する予定で、事業費について検討しているところである。今後の公募、サウンディング調査等を踏まえて積算していく。進捗状況を随時、まちづくり調査特別委員会に報告したい。



道の駅の予定地

問 けっこうな計画を作っても、絵に描いた餅になってしまう。道の駅は赤磐市がやるか、考えるのか。

答 事業手法検討調査業務において事業規模、事業手法等が決められ、来年度に建設業者や運営業者を選定する業務に取りかかりたいと考えている。



福木京子 議員

山陽団地の活性化を進めよ



個人質問の映像を録画
放映でご覧になれます。

問 山陽団地の中心部は更地になって2年半、何の進展もない。解決するには、市がこの土地を買い、市民要望のあるお店や福祉施設を実現すべきであり、買った土地を貸地にして民間活用も検討すべきではないか。県営住宅に若者が入居しやすい施策を行うべきと提案してきているが一向に進んでいない。

答 市が土地を購入して事業者を募集しても民間企業が出店するか否かは事業の継続性が保たれるかどうかが大きな判断材料となる。それよりは、団地全体のイメージアップを図っていくことが最優先と考える。県営住宅は単身者の入居が可能となっているので、周

知に努め学生を含む若者世代の支援につなげていきたい。

新拠点でのまちづくり

問 大型の商業施設の誘致は交通渋滞・浸水問題で考え直すべきではないか。市民に対して説明をすることが最優先だ。

答 現在検討中のアクセス道路は県道岡山吉井線としている。新下市橋の交差点では混雑が想定されるので、交通量を分散させるため、市道岩田長尾線の整備を進めている。浸水問題では、基準に適合した雨水貯留施設を設置し、一時的に下流域への雨水流出を抑制することで浸水リスクを軽減できる。



山陽1丁目の高台から見た山陽の中心部

農業振興地域への太陽光パネル設置問題

問 太陽光パネル設置では市民要望を受けて、市の条例を見直すべきではないか。

答 市民からの条例改正の要望を受け、改正の協議を行うこととしている。



牛尾直人議員

子育て環境について



個人質問の映像を録画
放映でご覧になれます。

大規模災害時の対策

問 支援物資受け入れ拠点として公園などにドーム型屋根をかけたかどうか。

答 検討したい。

生活困窮者支援

問 食糧の支援は。

答 フードバンク、フードドライブを行っている。

問 人目に触れない公共冷蔵庫が必要では。

答 顔の見える支援が大前提である。

問 食べられない子供たちの支援として必要では。

答 課題として捉えた。

市民バスについて

問 熊山地域で開始したAーデマンドバスの

他地域への導入は。

答 まずは利用状況を見ながら検討したい。

問 市内全域でデマンドバスを導入し、乗りたい時に乗り、路線バスと乗り継ぎできるようになるのか。

答 利便性の高い制度にしたい。

子育て環境について

問 市内の中学校に特進コースが必要では。

答 考えていない。

問 今後整備する施設に障害児が遊べる公園が必要では。

答 今後検討したい。

問 病児保育の現状は。

答 市内保育園、こども園6園で実施している。また県内広域の相互利用協定で約20の医療機関の病児保育室の利用が可能である。



千葉県流山市送迎ステーションのしくみ

問 流山市の送迎ステーションのように環境を整備して、女性がキャリアを諦めなくても子育てができる街に向かっていく覚悟はあるのか。

答 強い方向性を示して力強く進めていく。



鼻岡美保議員

熊山の支所・公民館の機能移転



個人質問の映像を録画
放映でご覧になれます。

問 住民や利用者の意見、意向をどう取り入れたのか。移転先の耐震構造は。要望はいつまで受け付けるのか。

答 会議室は十分なスペースが確保できるのか。公民館の事務所が施設と別建物だが支障はないか。建物の解体で何台の駐車が可能となるのか。

答 区長会、役員会で説明し、補正予算成立後、区長に状況説明、利用者には個別に説明している。情報発信と意見の集約に努力する。施設は耐震基準を満たしている。要望はこれから受ける。会議室は足りると判断している。事務所は「ほえみ」が支所の窓口となるので、適切に管理できる。駐車場の可

能台数は200台程度。

菅根田遺跡の発掘調査

問 調査範囲外の包蔵地はどうなるのか。現地説明会の開催を。両宮山古墳をコンセプトにした構想は。

答 事業者からの申し出を受け、調査の必要性を考える。民間の場所でも調査自体は教育委員会の責任で行う。現地説明会は前向きに検討する。公共ゾーンの構想はこれから考えていくことになる。

NPO法人永瀬清子生家保存会に予算を

問 永瀬清子の業績を知らせ、行政とNPO法人が一体となって地域の活性化につなげる方策はないか。永瀬清子の関連施設は赤磐市



熊山公民館

の財産だ。地域の活性化につなげるには、資料・生家の保存が資金不足でできない。NPO法人の要望を生かす予算をつけるべきでは。

答 NPO法人と連携した活動も行っている。予算は今後の検討課題と考える。資料等しっかり保存し、今後の研究に役立てたい。



原田素代議員

市長の家族名義の事業所に 2650万円支払



個人質問の映像を録画
放映でご覧になれます。

問 岩手県滝沢市の市長が、ふるさと納税で

米の返礼品の代金が300万円あったとテレビ報道がされている。市民は「やることではない。公平ではない。許せない。滝沢市の米農家はいっぱいある。やめるべき。」などと言っている。弘前大学の准教授は「公共事業と同じように求められる高い倫理観が欠如していると言わざるを得ない」とコメントしている。しかし、赤磐市では市長の家族名義の事業所への支払いが毎年トップで、内訳は果物や市長が作った米である。令和3年は1億300万円（ふるさと納税額）。そのうち事業所へ2650万円。300万円メディア

に叩かれる市長がいるのに、2650万円の問題にされない。市長はどう考えているのか。

答 私が関わっていないので、どうこう言えることではない。

問 そんな非常識な答弁はやめて、責任を持った答弁を求める。

答 しっかりと受け止め、今後のことについて考えたい。

問 市長がトップで売り上げを伸ばしてはまずい。まちの活性化がふるさと納税の本旨である。担当部長はどう配慮するのか。

答 市長の言うとおり受け止めてしん酌する。

立地適正化計画での道路建設費と埋蔵文化財発掘調査費用は9億7028万2千円



赤磐市ふるさと納税パンフレット

問 市長は9億7千万円余りの予算を「歓迎の意思」と言われたが、業者から求められた予算が思いやり予算と違うことか。

答 歓迎の意味だ。コストコもナカシマホールディングスも市が独自で交渉してきた。ベストコーポレーションは私が声をかけたのではない。



光成良充議員

不妊治療は保険適用となったが 助成は必要では



個人質問の映像を録画
放映でご覧になれます。

問 令和4年4月から一部の不妊、不育治療は保険適用となったが、保険適用開始後も保険診療の対象外の治療があり従来よりも自己負担が増える場合がある。赤磐市は他市と比べて助成等は不十分な部分もあると感じているが、市の考えは。

答 保険適用後も助成している市町村はある。市の助成は、県の医療費助成制度と抱き合わせでの助成が理想的と、令和4年9月議会で答弁しており現在も考えに変わりはない。

問 妊娠したら妊婦健診があり、不育の場合には不育症の助成があり、出産までサポートして出産後は「子育てするならあかいわ市」でサポートというのが赤磐

市の考えで、妊娠するまでは助成なしで頑張れということなのか。

答 県内には保険適用外の自己負担部分に助成制度を残しているところを我々も認識をしている。赤磐市は総合計画で子供を産み育てる町を目指していて、そういう制度ができればと常々思っている。少子化対策として有効で、治療により明るい家庭を築くことも赤磐市に必要なと思っている。しかし財源的な問題があり、県の動きを把握し市長会で県への要望を思っている。

給食センターの在り方

問 中央学校給食センターは民間への調理等業務委託で、吉井・東学校給食センターは直営で運営をしているが、教育委員会は民間へ業務委託をする考えは。

答 受託会社へは、あらゆる面で安心して任せられる状況で、地域貢献にも積極的である。市としては順次業務委託の拡大を検討しているが、保護者や市民の声を聞き理解を得ながら進めたいと考えている。



中央学校給食センターの親子体験ツアー



佐藤武文 議員

農機具の貸し出しを 行ってはどうか



個人質問の映像を録画
放映でご覧になれます。

問 継続し農業が行える環境づくりに、農機具の貸し出しを行い、農地を守り荒廃地の追放を目指すべきではないか。

答 農機具の貸し出しや労働力の提供など、農業者支援ができる組織の準備をしている。

問 池のり面の草刈り作業が安心して行えるよう考えるべきではないか。

答 ラジコン草刈り機などの導入が急務であると認識している。

ホテル・温泉施設の計画があるのか

問 産業振興・賑わいゾーン内にホテル・温泉施設を整備する計画があるのか。

答 民間の宿泊施設は市内になく、必要な施設と認識している。

問 開発者の土地へ市道を整備することの理解ができない。

答 良好な土地利用、エリア内の円滑な役割を担う道路として計画している。

まちづくり構想に市民の声がなぜ反映されない

問 赤坂・熊山・吉井地域の「まちづくり」に市民の意見を反映する機関を設け人口減少に歯止めをかける対策を行うべきではないか。

答 市民の意見を聞きつつ快適に生活するためのきめ細やかな施策を進めている。

学校統合の問題は

問 学校統合は子供たちの教育にどのような状態が最善であるか。

答 「誰ひとり取り残されない学校」の理念の下で進めている。

問 築50年以上経過した老朽化した校舎も見られ、統合に伴う建て替えも必要ではないか。

答 築後年数が経過している施設は、頻度高く観察していきたい。



農機具は農地を守る必需品

ようこそ赤磐市へ



愛知県碧南市議会



香川県さぬき市議会



岐阜県各務原市議会



愛知県西尾市議会

令和6年11月1日に、愛知県碧南市議会が「議会基本条例推進特別委員会」の調査のために視察に訪れました。

令和6年11月21日に、岐阜県各務原市議会運営委員会が「タブレット端末の運用方法と議会ICT化の取り組みについて」の調査のために視察に訪れました。

令和6年10月31日に、香川県さぬき市議会教育民生常任委員会が「学校部活動の地域移行について」の調査のために視察に訪れました。

令和6年11月13日に、愛知県西尾市議会経済建設委員会が「公共施設跡地の都市計画について」の調査のために視察に訪れました。

議会全員協議会

主な協議・報告事項

11月19日

・令和6年12月第4回赤磐市議会定例会について

11月27日

・定例会中の委員会中継について
・議会報告会について
・議会改革検討委員会の進捗状況について

まちづくり調査特別委員会

主な協議・報告事項

10月30日

・事業の進捗状況について

産業建設常任委員会 視察研修

11月6日

①NIPPONIA外村宇兵衛邸
(滋賀県東近江市)



日本のビジネスの基礎を作った近江商人の精神を育んだ土地を背景に歴史的資源等を活用した「ワーケーション」に積極的に取り組んでいる状況や課題などの調査研究を行った。

11月7日

②東近江市役所 (滋賀県東近江市)



コストコ誘致までのプロセス、議会対応の状況、税収、雇用、訪問人口の状況、市の知名度の変化、コストコ誘致に伴う企業の出店動向など説明を受けた。

赤磐市議会 議員研修会

令和6年11月25日、赤磐

市役所協議会室において、講師に跡見学園女子大学観光コミュニケーション学部教授鍵屋一氏を迎え「自治体の防災・減災対策と議会の役割」をテーマで研修を行いました。

発災時に議員がするべきこと、してはならないことを確認し、経験のないことには対応ができない、そのためには準備・計画・教育が必要であると講義を受けました。



厚生文教常任委員会 視察研修

11月11日

①子育てはうす ぱすてる
(岐阜県大野町)



道の駅パレットピアおおのに併設されている子育て支援施設の取り組みについて説明を受けた。

11月12日

②大垣市役所 (岐阜県大垣市)



義務教育学校「大垣市立上石津学園」について、開校までの経緯について説明を受けた。

新年のごあいさつ

議長 佐藤 武



市民の皆様には輝かしい新年をお迎えのこととお慶びを申し上げます。

昨年は市議会に対しましてご理解とご協力を賜り、まことにありがとうございました。

さて、全国の地方自治体はもとより、赤磐市におきましても人口減少や少子高齢化が急速に進展する中にありまして、子育て政策の強化や福祉・医療サービスの充実など、複雑多様化する住民要望とともに、物価高騰の日々の暮らしをどのように守っていくのか、さまざまな分野で難問

が山積している状況であります。

さらに地球温暖化が原因といわれる大規模災害をはじめ、大地震がいつ、どこで発生してもおかしくない現状の中で防災、減災への取り組みも喫緊の課題となつているところであります。

私ども市議会としても、山積する課題や政策の取り組みについて、市執行部に対しまして提案や検討、さらに改善要求などを重ね続けてまいりました。しかしながら、一朝一夕に納得のいく解決策を見出すことは困難であり、今後とも日々の暮らしの安全安心を確保していくことは当然のことではありますが、活力あふれる市政発展のために邁進していかなくてはならないと考

えております。

今期の議員任期も残り2カ月余りとなりました。この4年間、市民皆様の負託に応えるべく努力を重ねてまいりましたが、十分な活動ができなかったことをお詫び申し上げますとともに、今後とも市議会に対しましてご支援、ご協力をいただきますようお願いいたします。

来る3月23日は、赤磐市長選挙と市議会議員選挙の投・開票日の予定となつております。ぜひとも選挙にお出かけいただきまして、赤磐市の未来に向けた大事な一票を投票していただきますようお願いいたします。結びになりますが、この一年が市民皆様にとりまして素晴らしい年になりますよう祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

議会報告会を開催

11月30日に市内4会場で「令和6年度赤磐市議会報告会」を開催しました。ご参加ありがとうございました。

皆様からいただいたご意見やご感想は、より参加しやすい会となるよう今後の運営方法に生かしてまいります。

○参加者数

- ・桜が丘いきいき交流センター 16名
- ・赤坂健康管理センター 17名
- ・くまやまふれあいセンター 8名
- ・吉井会館 7名



赤坂健康管理センター会場の様子



桜が丘いきいき交流センター会場の様子

○参加者からの感想（アンケートの回答から一部抜粋）

- ・市民としてまちのことに関わる機会を増やしたいと感じた。
- ・質問に対して疑問の残る回答だった。
- ・若い人が参加したくなるような会に。
- ・市民のために広い観点から、建設的な議論をしてほしい。
- ・進行を工夫して、参加者全員が発言できる機会をつくってほしい。
- ・広報をしっかりとって参加者を増やし、市民の声をもっと伝えられれば良いと思う。

編集後記

令和もあつという間に7年になりました。昨年末からインフルエンザが猛威を振るい、コロナも広がっているようです。市民の皆様におかれましては、令和7年を健康でお過ごしいただきたいと思ひます。

さて令和6年の議会におきましては4回の可否同数・議長裁決での決定がありました。我々編集委員も編集のたびに新たな気付きがあります。11月より公式LINEの運用が始まっています。今は主に紙面とホームページのご案内の動きをSNSなどのコンテンツの活用を視野に入れて、より多くの市民の方々に知っていただくよう努力を続けます。3月23日には市長・市議会議員選挙があります。ぜひ、投票に行ってくださいと思います。

広報広聴委員(広報部会)

- ・部長 光成 良充
- ・副部長 鼻岡 美保
- ・委員 大木 浩志
- ・委員 保田 利博
- ・委員 安藤 利博

赤磐市議会だより(第81号)は紙面作成の都合により、6月配布予定です。